

登録コード	AS502500	開講年度	2026				
授業科目	山岳科学概論B				担当教員	青木 渉	
英文授業名	Introduction to mountain science B				副担当	安江 恒	
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	講義	備考	2日間の集中講義形式で実施	
信大コンベンション	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【研究科共通】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力				⇔	山岳科学を総合的に学ぶうえでの応用知識を身につける。	
	【研究科共通】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				⇔	山岳科学を総合的に学ぶうえでの応用知識を身につける。	
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力				⇔	山岳科学を総合的に学ぶうえでの応用知識を身につける。	
授業の概要	山岳環境に関わる自然科学、社会学、人文学的な項目と、防滅災や自然公園管理などの応用分野について、各専門家がわかりやすく解説する。						
Contents:	Students will be led by experts from a variety of fields to undertake a systematic and global examination of issues related to mountain environments, thereby equipping them with a broad grounding and ability to comprehend and think holistically. Tsukuba University is the host University of 2026 lecture. 1.Mountain building and environmental change 2.Volcanic eruptions and hazards 3.Species diversity and genetic diversity of animals in the Japanese Archipelago, with special reference to the Central Mountain Region: Their origins and diversification processes 4.Environmental Problems in the Lake 5.Agriculture style in mountainous area 6.Japanese Mountain Culture 7.Sociology of the Commons: Communities and Resource Use in Mountainous Areas (The content may change.) The class will only be offered in an on-demand format this year.						
授業計画	実施日：2026年8月24日（金）-9月24日（土） 会場：筑波大学 実施方法：オンデマンドのみ ・農山村と山岳 ・山岳の文化：山岳建築の歴史を中心に ・山岳防災 ・山岳生態系サービスの経済的価値 ・山岳域における大気環境問題 ・山岳域への大気を経由した物質輸送 ・山川海の連続性と生態系機能 (内容に変更があり得ます)						
成績評価の方法	全ての講義終了後に提出するレポートで評価する。						
成績評価の基準	レポートの評価点が90点以上を「秀」、80～89点を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」とする。						
事前事後学習の内容	事後学習では、講義で配布されるレジュメを復習すること。						
履修上の注意	山岳科学教育プログラムの修了要件における必修科目。山岳科学教育プログラム履修生のみ受講可能。本年度は、8月24日から9月24日にオンデマンドによるオンライン視聴のみで実施します。指定の期間中に配信された授業を視聴し、レポート課題の提出をしてください。詳細は追ってご連絡差し上げます。						
質問,相談への対応	個々の講義内容については、それぞれの担当教員に直接質問してください。実施に関わる連絡先は青木 (waoki@shinshu-u.ac.jp) です。						
学生へのメッセージ	講義への積極的な参加（質問等）を評価する。						
【教科書】	あり。「山岳科学」（古今書院）						
【参考書】	使用しない。						